

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	山留め小委員会		主 査 名：元井康雄 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：松永茂実)
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2022 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「山留め設計事例集」(仮称, 以下, 「事例集」) の刊行。「山留め設計指針」(2017, 以下, 「指針」) 以降の山留めに関する研究開発成果や予測技術, 管理技術の検証。</p> <p>初年度: 「事例集」の骨子作成, 「指針」作成時の課題整理。</p> <p>2 年度: 「事例集」掲載事例の選別, 「指針」以降の新たな課題抽出。</p> <p>3 年度: 「事例集」執筆, 山留め設計に関する新たな課題の検討。</p> <p>4 年度: 「事例集」査読対応, 山留め設計の課題検討結果まとめ。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無: 無</p> <p>主査: 元井康雄 (大林組)</p> <p>幹事: 河野貴穂 (竹中工務店), 實松俊明 (鹿島建設)</p> <p>委員: 石井義雄 (丸紅建材リース), 石丸達朗 (戸田建設), 井上波彦 (国土技術政策総合研究所), 岩田暁洋 (大成建設), 小玉大樹 (日建設計シビル), 澤田 亮 (JR 総研エンジニアリング), 嶋田 司 (東京地下鉄), 清水孝昭 (竹中工務店), 下村修一 (日本大学), 堀田洋之 (岡山理科大学), 山下俊英 (前田建設工業)</p>		
設置 WG (WG 名: 目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・山留め事例計算WG: 「事例集」掲載を念頭においた, 山留め事例を用いた「指針」の推奨法の検証。 ・山留め変位予測法検討 WG: 山留め事例を多様な解析方法 (梁・ばねモデル, FEM など) でシミュレーション, 検討に必要な実測値の収集・整理。 		
2021 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無: 無 委員会 HP アドレス: 無	

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会 1 回 ※事例集原稿作成作業をメール連絡にて継続 山留め事例計算 WG 12 回、山留め変位予測法検討 WG 8 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「山留め設計事例集」(仮称) 2次原稿執筆, 査読対応 (80%) 2. 「山留め設計指針」(2017) 後の課題抽出, 山留め実測事例シミュレーション収集 (70%)
委員会活動の問題点・課題	1. 新型コロナウイルス対応による面前での会議自粛中。